

2022年1月26日

公益財団法人 日本テニス協会

テニス日本リーグでの新型コロナウイルス感染症発生について

今月19日から23日に横浜国際プール(神奈川県横浜市)とブルボンビーンズドーム(兵庫県三木市)の2会場で開催された第36回テニス日本リーグ2ndステージの参加チームから、新型コロナウイルス感染陽性者が確認されましたのでお知らせします。

大会終了後の24日、ビーンズドーム会場出場の3チームより、選手と帯同スタッフの陽性が判明したとの報告が断続的に当協会になされました。25日現在、ビーンズドーム参加者で陽性が判明した選手、スタッフは、5チームで15人、4人が検査中となっています。

本大会は、当協会の制定したガイドライン、及び主催大会開催の基本方針に基づき、選手、帯同者、大会関係者、観客による「大会開催前2週間、大会期間中、大会終了後2週間」の当協会健康情報管理システム「HeaLo」の活用、大会ドクターによる健康チェックを含む感染症対策を実施してきました。今後も、所管保健所、官公庁及び出場チームとの連携を密にし、感染症防止策の周知、徹底に最善を尽くす所存です。

テニス日本リーグは1986年から続く実業団の最高峰リーグで、男子18チーム、女子12チームが所属します。男女とも2ブロックに分かれて、1stステージと2ndステージの二つの期間で総当たりリーグ戦を行い、各ブロックから男子は上位4チーム、女子は上位3チームが決勝トーナメントに進んで優勝を争います。今回の第36回リーグは、昨年12月2日から5日に1stステージが行われ、2ndステージは今月19日から23日まで開催されました。2月18日～20日に東京体育館(東京都渋谷区)で予定されている決勝トーナメントは、今後の感染状況などを踏まえ開催の可否を決定いたします。

以上